

■ 墨の濃淡を生かして描く



①側筆で下から上へ節の部分を残しながら勢よく描く。墨を含ませすぎず、かすれで竹の表情を豊かに。



②筆の穂先を整え①と同様に節を残しながら、細い線でのびやかに描き進める。



③根元から先へと直筆で描く。手前にある葉は濃く、墨の濃淡に変化をつけ奥行きを表現。



④葉の多いところと少ないところの差をつくることで、全体のバランスがとりやすくなる。

